



Rotary International District 2650 Nara Japan

奈良大宮ロータリークラブ

# Club Weekly Bulletin

- 創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日 17:30
- 事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話 0742-33-8583
- 例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話 0742-26-3300(代)
- 会長：井上正行 ■副会長：北神徳明 幹事：増井義久



卓話 ぱるす出版株式会社 社長 春日 栄 様

## 会長報告

- 成田会員の御見舞いに増井幹事、野崎親睦委員長と3人で行ってまいりました。来週の家族例会には是非とも出席したいとのことでした。
- 新会員セミナーの案内が来ております。これは入会后三年未満の方は義務となっておりますので、よろしくお願い致します。また、五年未満の方も出席出来るということです。2012年4月1日開催（登録締切/1月31日）で250名の出席を予定されておられます。
- 2012-2013年度RI2650地区第4組IMについてのお知らせですが、2012年10月27日（土）にかしはら万葉ホールにて行われます。ホストクラブは榎原RCです。
- 東田会員より退会届が出ております。持ち回りで臨時理事会を開催させて頂き、承認致しました。東田さんは平成元年に入会されましたので、23年間に亘り会員としてご尽力されました。

## 委員会報告

### 社会奉仕委員会・多田実委員長

- 先週の理事会におきまして、11月5日に行われましたダルクの講演会の決算の理事会承認を頂きました。これにつきましては、Q&A冊子を購入してありまして、配布できていない分につきましては奈良少年院に寄付し教育活動に利用して頂くことに致します。
- 2012年2月3日（金）に献血活動を行いますので、多数の皆様の参加をお願い致します。詳細は後日ご連絡致しますので宜しくお願い致します。

### 新世代委員会・武中委員長

10月4日に行いました大宮地区の防災訓練には多数のご参加・ご協力を頂き、有難うございました。お蔭様をもちまして、無事30名を超えるクラブメンバーにも参加を

発行日/2011年12月20日  
2011-2012/22

# Vol.33

No. 1581

HP: <http://naraomiya-rc.jp>  
E-mail: [info@naraomiya-rc.jp](mailto:info@naraomiya-rc.jp)

2011~12年度 当クラブテーマ  
「クラブの未来のために  
リーダーを育成しよう」

R.I.D.2650 2011-2012



良き伝統を守り、新しいロータリーに挑戦しよう

国際ロータリー第2650地区  
ガバナー 今西 信裕



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

### 四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

## 例会プログラム

第23回 12月20日  
通算1581回

年末家族親睦例会

ソング  
「奉仕の理想」

### 例会状況報告

第22回 12月13日  
通算1580回

● 会員数	70名
● 出席免除者数	23名
● 出席者数	55名
● 出席率	88.71%

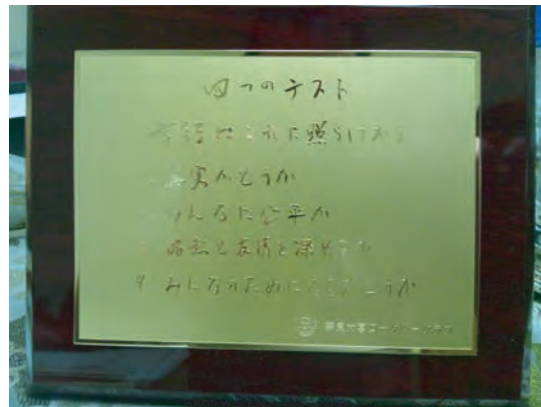
第20回 11月29日  
通算1578回の修正

● 会員数	70名
● 出席免除者数	23名
● 出席者数	60名
● (内補填者数)	7名
● 出席率	96.77%

頂き、盛會に終わりました、ここで改めて感謝申し上げます。前回の会長報告の中でもありましたように、42万円の予算をとっておりましたが、その内マリオさんの方々から20万円と予備費としての自衛隊さんなどへのお礼の12万円を皆さんのご厚意によりまして、全額義援金として使って下さいということで承っておりますので報告させていただきます。

### 職業奉仕委員会・武藤委員長

本日、お渡しさせていただきましたが、今年度の職業奉仕委員会の事業の一環として、本年度はロータリアンの気持ちを更に思い起こして頂く、心と原点をもう一度心に刻んで頂くということで金属板にエッチングをしました「四つのテスト」を作りました。作成にあたりましては当クラブのメンバーであります北河原さんに揮毫をお願いしまして、私から申し上げるのもなんですが、立派なものが出来たのではないかと喜んでおります。皆様のご自宅や事業所の方に掲示して頂き、折々ご覧頂き、ロータリアンとしての信条の縁にして頂ければ有難いと思ひ作成致しました。姉妹クラブの太宰府RC・東京恵比寿RC、またガバナー事務所にも同じものを送付させていただきますので、ご報告申し上げます。



### 幹事報告

- 計良会員の委員会配属は、親睦活動委員会・職業奉仕委員会になります。
- 現在手続きを進めている新入会員の入会日は、来年1月10日を予定しております。

### 熊本ガバナー補佐

東日本大震災の支援についてのお願いです。12月10日にガバナー補佐会議がありました。皆さまからご協力頂きました義援金はお蔭様で地区全体で約5,370万円となり、奈良大宮RCからもハワイの姉妹クラブを含めて約130万円頂いております。その5,370万円のうち、ガバナー会の負担が約630万円、岩手県・宮城県に1,370万円、福島県に1,000万円、合計約3,000万円を被災地へ送金済みです。残り2,370万円は、震災で両親または片親を亡くされた子供が約1,500名おられ、そのうち高校生・大学生を中心に奨学金を支払うこととなり、日本の全ロータリアンで約3億円、台湾のロータリークラブからの支援金が約1.5億円の併せて4.5億円を奨学資金に使います。これは大学生・高校生を含め一人当たり毎月5万円を年間を通して支給し、年数にして約4年～8年間支援するというものです。その金額は財団ではなく皆さんからの資金4.5億円と今後賄う資金で支給することとなっております。当初大宮RCからは「5 for 1クラブ」という形で支援をするという了解を頂いておりましたが、今後は地区が被害地域に支援をするということで、今西年度に皆さんから頂いた義援金が地区に約2,100万円残っておりますので、これに今年度から3年計画でロータリアン一人当たり年間1万円の合計3万円をご支援して頂き、本年度は約4,600万円をガバナー事務所としては見込んでおります。合わせて6,700万円を基準とし、地区特別基金として地区の皆さんが各クラブから被災地のクラブへ支援する場合に使う形をとりたいということで、先般、会長宛に「東日本大震災支援のお願い」という文書でお願いさせていただきました。皆様には何卒ご協力をお願い申し上げます。その趣旨につきましてはガバナー月信の12月号に載っておりますので、お読み頂ければ大変有難いです。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

### 楠原会長エレクト報告

本日例会前に第一回次年度理事会を開催いたしました。その理事会での審議、決定、承認事項を報告致します。

1. 常任委員会の役割分担の決定 {クラブ細則第2条理事会及び事務取扱内規第4条ロ～ホに基づく}
  - 会員組織委員会 小西敏文 君
  - 奉仕プロジェクト委員会 藤井正勝 君
  - ロータリー財団委員会 森下泰行 君
  - クラブ広報委員会 井上正行 君
  - クラブ管理委員会 潮田悦男 君
2. 理事の役割分担の決定 {クラブ細則第2条理事会に基づく}
  - 職業奉仕委員会 大塩栄作 君
  - 社会奉仕委員会 宮西正伸 君
  - 新世代委員会 藤井正勝 君
  - 国際奉仕委員会 楠下重郎 君

3. 会長、副会長の代行順位の決定 {事務取扱内規第4条(イ)に基づく}
  - 1位 楠下重郎 君
  - 2位 藤井正勝 君
  - 3位 宮西正伸 君
  - 4位 森下泰行 君
  - 5位 大塩栄作 君
4. 会場監督の選任 高辻良成 君 {クラブ細則第3条第2節bに基づく}
5. 副会計、副幹事、副SAAの選任 {事務取扱内規第3条第2節(イ)に基づく}
  - 副幹事 植倉一正 君
  - 副会計 多田 実 君
  - 副会場監督 高野 治 君
6. 会場監督、副幹事の次回次年度理事会からの出席について  
オブザーバーとして出席して頂くことになりました。
7. 次年度理事会の日時の決定  
平成24年2月7日の例会終了後となりました。

---

## 卓話「熟年再婚のすすめ～人は一人では生きられない～」

### ぱるす出版株式会社 社長 春日 栄 様

前回の卓話講師の暮部さんのご紹介で東京から参りました。この演題とさせていただいたのは、お手元に「ぱるす通信」というものをお配りさせていただいておりますが、「熟年再婚のすすめ」というのを3回に亘って掲載するお話をいただき、掲載させていただいたところ、1回目を掲載したときから、ずっと続けてくれないかというお電話をいただき、どうしてみんな奥さんと別れたのかとも思ったのですが、別に再婚でなくても良かったのですが、熟年結婚ということで、いま男性も女性も非常にシングルの方が増えておりまして、年を重ねた女性の皆さまの中で、私が再婚をしたという話をする、うらやましいから是非その話を聞かせてくれと言われました。私から見たら、こんなに若くて、給料もそこそこ貰っていて、世の中には男性がたくさんいるのに、どうしてこんなおばさんの話を、しかも再婚ですよ、言ったのですが、やはり女性も男性も結婚したいんです。結婚したいんですが、もうこの年だからとか、あの人もう少しお金がありそうだったらとか、結婚できないということを勝手に自分の中で作っておられます。2007年に離婚の際の年金分割制度ができて、来年の2012年から一番人口の多い団塊の世代が年金を貰うようになります。私も経験者なのでよく分かるのですが、今まではお金がないから主人でもまあいいかということで暮らしていました。半分貰えるからといってもそんなに大した金額ではないと思うのですが、そこそこお勤めされていて、その年金が半分入ってくれば、どうにかこうにかやっていけるという人も多いのでは、ということでこれはかなりの問題になるのではないのでしょうか。どうしてこういう法律ができたのか、国にどういうメリットがあるのかと考えてみますと、生活保護を受けている方々が今年になって非常に増えていますが、ご主人がそこそこ勤めていて、その半分以上をいただいて、自分にわずかな給料があれば、生活保護を受ける必要がないんです。国民年金だけであれば別ですが、だいたいそうなります。そういうことで出来たのかどうかはわかりませんが、私は私なりにそう判断してみました。

同時に女性の平均年齢も86歳、男性の平均年齢も79歳となりますと、信長の時代の人生50年というわけにはいかず、それからまだ30年も生きなければなりません。そうすると離婚にしても死別にしても、仮に50歳で別れたとしても、それから30年間も真っ暗な部屋に帰って自分で電気を付け、洗濯もしなければなりません。子供がいるから大丈夫という方もおられますが、子供は何もしてくれません。子供も自分の生活で手一杯ですから、特に男の子は結婚でもすれば、実家にはほとんど帰ってきません。そういうことで、このような非常に寂しい人生を送って、寂しいまま昇天するというのは非常に不幸だと私は思いました。

私の年代では適齢期でしたが、私は24歳で結婚しました。その後10年ほど結婚していましたが、私のわがままもあり離婚しました。離婚というのはどちらかが悪いということはないんです。別れてみて初めて反省しました。ただ後悔はしませんでした。それぞれ欠点があったから別れたのですが、やはり寂しさというのは、お友達とかお金では割り切れない本当に厳しいものです。そして寂しいから逆に一生懸命仕事をしようと思えます。結局、会社でそこそこの地位まで上がれるのではないかと考え、私の場合は20年間一人ですと今のぱるす出版に勤めておりました。最初は経理に入り、1円や2円合わないからって夜中までやることないだろうと言っておりましたら、銀行の支店長さんが来られまして、この人に経理を任せていると会社潰れますよと言

われました。それから営業に移りました。出版社の営業というのは、もちろん書店を回るのでありますが、回りながら、平積みされる本というのはどうして平積みされるほど売れているのかということを見ておりますので、編集に役立ちます。そこで私の意見をいろいろと会社で言うておりましたら、そんなに理屈を言うなら、自分でやってみろということになり、この人にこの題材を書かせたら売れるんじゃないかということで、サガン鳥栖の監督だった松本さんに本の執筆を頼みに行きました。ちょうどメキシコのオリンピックがあって、松本さんはNHKの解説者で派遣されておりましたので、帰って来られてから口説きに行くことになり、毎週毎週増刷して出荷するようになるほど売れました。その後も、次から次へ企画を持って行きました。有名人に書かせたら売れると思っていると、これがまた売れないんです。有名人は、本に書くだけでなく、いろんなところで話しておりますから。それでもまがいなりに20年間編集の仕事に打ち込んできました。

今の主人とは、16歳年が離れていて、今は84歳になります。私が53歳だったとき、そのときは奥さんも子供もいました。私の親しい人が亡くなられた際、娘さんが一人おられたのですが、母が亡くなったのでお葬式を助けて欲しいと言われ、会社を休んで手伝いに行きました。亡くなられた女性は今の私の主人と親しかったのですが、お通夜にもお見えにならないし、葬式にも来られないのでどうしたんだろうと思って電話を入れたところ、連絡が行ってなくて、亡くなられたのを知らなかったとのことでした。それで急いで、まだお骨が帰ってきてなかったのですが、自宅に来られました。私は先に焼き場から自宅に帰って、お食事の用意をして待っていました。その後、一周忌のとき、お招きする人もかなり絞っておられたのですが、私の主人になる人が、今日一緒に帰らないかと言ってきました。池袋だったのですが、私は、せっかく来たのでデパートに寄ってから帰るから今日はだめなの、と断って帰ったのですが、その1週間前に女房が亡くなったということでした。1週間前だと香典を渡さないといけないと思って送ったところ、49日が終わるとお返しが来ました。私は一人暮らしの経験が長いからいつでもお酒お付き合いしますよと伝えました。それでいろんな仕事をしている最中に、相談したいこともあるということでお会いしたら、お酒を飲むのが楽しいから月に1回酒代持つから一緒に酒のまないか、と言われました。私はおいしい食事ができたらいいので、二つ返事でOKして、その後は月一おじさんと食事に行ってくると言っては、仕事を放り投げて帰っていました。そのうち何となくこの人いい人だと思えてきて、これも亡くなられた方が結び付けてくれおだと思ひ、ちょうど3回忌を迎えていた頃ですが、男の人が一人で暮らすのは寂しい、私もこのまま一人で暮らすのは大変でしたので、結婚しようかということになりました。でも、再婚するということになると娘さんが反対します。母親の代わりに知らない人がくるというのもありますが、家や預貯金はどうなるのかということもあります。私は主人の貯金や年金について聞いたことはありませんでした。嫁に来てみて、あまり裕福でなければ、自分に男を見る目がなかったと思えばいいだけなので、一切聞きませんでした。せっかく縁あって結婚したので、主人の奥さんは阪神淡路大震災の日亡くなったのですが、私が実行したのは、奥さんの墓参りには毎月行くようにしました。すると反対していた子供たちも、だんだん家にも来るようになって、最初は1年か2年くらいでいいかと思って墓参りに行っていたのですが、それを見た主人は墓参りは毎月行くもんだと思ってしまい、15年経った今でも毎月行っております。いい加減に私も疲れてきているのですが、逆に行かないと気持ち悪いです。結局、死んだ人のための墓参りではなく、自分が満足するための墓参りなんだということに気付いて、このごろは素直に二人で行くようになりました。今考えれば自分でも良く続いたなと思います。

そういうこともありましたので、「熟年結婚のすすめ」をシリーズにしようと思って、こういうところに来て「再婚ですよ」ということを聞くと、すぐ記事にしてしまいます。このように記事にすると、男の方は特に見栄っ張りになるのですが、私が取材した中でこれは面白い再婚だというのが、音楽の先生をされていて、50歳を過ぎてご実家のお父様の具合が悪くなって、町の中心部から郊外の実家に帰って父親の面倒を見るようになった方のお話なのですが、介護は本当に大変だそうで、お父様が亡くなられたときに、健常者と話してみたいという気になったそうです。そして、たまたま何かの会で一緒になった男性がお喋りにきてくれたのですが、独身で、子供が2人、孫も3人いて、父母も89歳でおられるという大変な男性でした。でも、とてもいい人だったそうです。私は50歳まで待ったのに、何でこんな割の悪い人と結婚するんだって、情けなくなってお見合いもしましたが、お見合いをした人がまた気に入らなくて、とどのつまりが彼と結婚して、今でも車で15分くらいのところに別々に住んでおられます。ご主人はご両親と孫の面倒を見て、奥様は今度はお母様の具合が悪くなり始めたので、お母様の面倒を見ながらピアノの先生をしておられます。どうして一緒に住まないの、と聞くと、ご主人の家は町の真ん中、彼女の家は郊外で防音設備もあり近所に迷惑かからないとのこと、家計も別なのですが、でも夫婦ということで、1年に1回登山をしたり、音楽会をしたりされておられたのですが、だんだん出かけるのも億劫になってきて、今はご主人の方が車でときどき家に来てくれるそうです。そういう再婚をされた方もおられ、それもなかなか素敵だと思いました。話し相手がいた方がいいからねということで、いずれ両方のご両親が亡くなられたら一緒に住みたいという話をされておりました。でも一番困ったのはお墓の話で、前の奥様の入っているお墓に入るのがどうしても嫌だとおっしゃいます。これは切実な問題かもしれません。食べ物の趣味が合うかどうかも大切です。男性が北海道で、奥様が九州という方がおられたのですが、九州では正月のお雑煮には鯛と丸い餅が入っているそうなのですが、北海道では鶏だしで四角い餅が入っているそうです。お互いにこれだけは譲り合えないということで、正月には2人でそれぞれ1種類づつ作るそうです。やはり母親の力はすご

いです。関心しました。

本当は私ではなく、本日の卓話をされることになっていた方がおられるのですが、その方は、病気になってしまい、ガンの闘病をされていたのですが、生還して帰って来られたので、「絶対生きてやる」という本を編集させていただきました。その縁で私はここに立っているのですが、その方はリンパ癌で1年持つかどうかといわれ、ご主人は既にその前にお亡くなりになっていて、お孫さんも男のお子さんもいらっしゃったのですが、その方がガンの手術をして麻酔も効いてまだ意識朦朧としているときに、2つ違いの今のご主人がベッドの枕元で「結婚しよう」と言ったそうです。勇気ありますよね。それを聞いたとき、私は大変に嬉しかったです。それから8年か9年経ちます。大変お元気だったのですが、ご主人が最近亡くなられたそうで、私はやっと落ち着いた生活を送れると思ったんだけど、ということで意気消沈されてしまい、今日はどうしてもここに来れなくて、実は、代わりに私がお話することになったんです。同じ再婚者同士だから自分の代わりに喋って来いと言われてました。私はこれまでロータリークラブで「誰か講師いない」と頼まれると派遣する立場で、時々講師の方と一緒に来て後ろの方で聞いていて、話す内容についてアドバイスをしたりしていたのですが、今日はここに来て逆に批判される側になって大変なのですが、私はやはりこの仕事について良かったし、今の主人と結婚して本当に良かったなと思っています。皆さんも恐れずに、もしお一人になってしまったら、素晴らしい方と再婚してください。別に籍を入れなくても、歩く運動をされている方ですが、奥様と旅行に行ったり、お食事をしたり、映画を見に行ったりということだけで結ばれているご夫妻もいらっしゃいました。私は本当にそうだろうなと思いましたので、皆さんに是非結婚をお勧めしたいと思います。今日は再婚のすすめということで東京からお邪魔しました。有難うございました。



本日計 81,000円 累計 1,543,000円

- 増井義久 君** 坂井さん 奈良マラソン完走 お疲れさまでした。私も、大阪サイクリングツアーに挑戦する予定です。
- 楠原忠夫 君** ロータリーリーダーシップ研究会 (R.L.I.) 12/11 (日) 谷川さんと2人参加してきました。勉強になりました。谷川さんご苦労さまでした。
- 北河原公敬君** (職業奉仕委員会事業の謝礼 全額ニコニコして頂きました。(武藤))
- 武藤廣茂 君** 北河原様、この度の職業奉仕事業では大変お世話になりました。ありがとうございます。箸尾様、谷川様、先日はお世話になりました。ありがとうございます。
- 清岡正教 君** 本日の卓話の講師の春日栄さん 東京よりおこしいただきありがとうございます。
- 橋本和典 君** 今日第1回次年度理事会を開きました。"まだまだ"と思っていたのに"もう"始まりました。皆様の絶大なるご協力(強力)をお願いします。
- 坂井宣之 君** 奈良マラソン 2年連続で完走できました。体はボロボロ、心はニコニコ。
- 谷川千代則君** 息子の進学が決まりひと安心です。ニコニコ
- 柴田直三 君** ニコニコ協力です。
- 森山斗福 君** ニコニコ協力
- 植村将史 君** ニコニコ協力

# 例会変更

## 1 月

### ■☒五條ロータリークラブ ■

- ☒1月 4日 (水)・・・新年家族会の為、日時・場所変更。  
日時：1月7日 (土) 17:00～ 場所：リバーサイドホテル  
※ビジター受付は行いません。

### ■☒大和高田ロータリークラブ ■

- ☒1月 3日 (火)・・・定款第6条第1節 (c) による休会。※ビジター受付は行いません。
- ☒1月17日 (火)・・・親睦家族会に変更のため、日にち・場所変更。  
日にち：1月22日 (日) 場 所：新歌舞伎座 (大阪上本町)  
※ビジター受付は平常通り1月17日 (火) 12:00～12:30まで  
南都銀行高田本町支店にて行います。
- ☒1月24日 (火)・・・定款第6条第1節 (c) による休会。※ビジター受付は行いません。

## NOMC第164回 信太山+天保山+忘年会

- (日 時) 平成23年12月 4日 (日)  
(参加者) 麴谷・飯田・橋本・福村・森下・高野・計良・小橋・向井  
<JRなんばから参加=東田・辻・木村・植倉>  
<忘年会から参加=小池・楠原>

### (行 程)

- 6:36 近鉄 新大宮駅 発  
| (近鉄電車)  
7:15 近鉄 難波駅 着  
7:30 南海 なんば駅 発  
| (南海電車)  
8:20 和泉中央駅 着  
| (徒 歩)  
| 黒鳥山公園<昼食>  
| (徒 歩)  
11:55 JR信太山駅 発  
| (JR電車)  
12:40 JRなんば駅 着  
| (徒 歩)  
| 三泉商店街・泉尾商店街通過  
| 甚兵衛渡船・赤レンガ倉庫通過  
| (徒 歩)  
15:00 天保山 着  
15:40 大阪南港駅 発  
| (地下鉄)  
16:30 難波 高島屋「青青」 着  
| <忘年会>  
19:00 難波 高島屋 (解散)



### 次週の例会

平成23年12月27日  
友愛例会